

<コミュニティ>

持続可能なコミュニティ運営に関する研究 (1998~2011年度)

◇概要

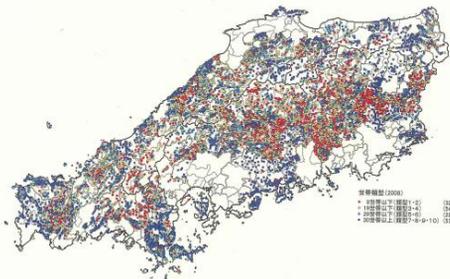
人口減少・高齢化の影響により、従来の集落機能を維持できなくなった集落が出始めている状況において、集落を超えた単位でコミュニティ組織を創設し、住民の主体性に基づいて運営している事例が出始めています。

これらの組織を運営していくためには、既存団体をはじめとする多様な組織との連携、事業の組み合わせによる活動資金の確保や他出子も含めた外部人材等も活かした人材確保が重要です。

◇現状と課題

中山間地域では、人口減少と高齢化により、農地の維持を始め、草刈りや買い物等日常生活にも困難をきたす高齢者等が増加しており、多分野に渡る幅広い支援を行う地域維持システムが求められています。

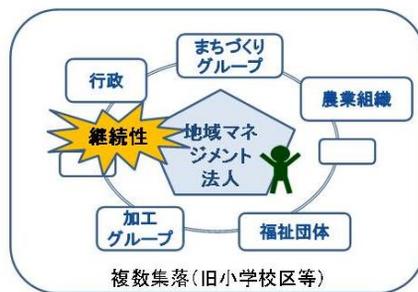
このような状況において、住民が主体となって生活支援や農地保全、地域活性化活動等を行い、総合的に地域の運営に取り組んでいる事例も出てきています。しかし、活動していく上では様々な問題や課題も多く、円滑な組織運営のあり方について明らかにしていく必要があります。



中国地方の小規模・高齢化集落の分布状況 (2008年)

◇ねらい

集落単独では集落機能を維持していくことが難しい地域では、これまでの集落の枠を超えて、広域的に集落の機能を支え合う仕組みをつくる必要があります。また、地域で発生する課題は、農林業、福祉、文化等、多岐にわたるため、行政や地域内の各種団体や組織と連携しながら課題の解決を図り、総合的に地域運営を進めていくことが求められます。さらに、中心となって地域課題の解決を図る「住民主体の組織」が必要です。



住民主体の地域づくり組織のイメージ

◇手法

①先発事例収集・聞き取り調査

地域維持のために幅広い活動を行っている組織について聞き取り調査等を実施。

②中国地方中山間地域振興協議会の共同研究

中国地方各県にモデル地区を設置して、各モデル地区における実践的取り組みやヒアリング調査により現状を把握。



耕作放棄地を解消して体験農園として活用

◇成果

地域運営において重要と考えられるのは①組織②資金③人材の3つのポイントです。

①組織について

組織形態や法人格の有無に関わらず地域運営を総合的に考え、企画、活動推進していく事例が見られます。

②資金の確保について

多くの組織に共通して、管理業務委託、補助事業活用、自主事業の実施が資金源となっています。しかし、自主事業の割合は小さく、今後の充実が課題です。

③人材の確保

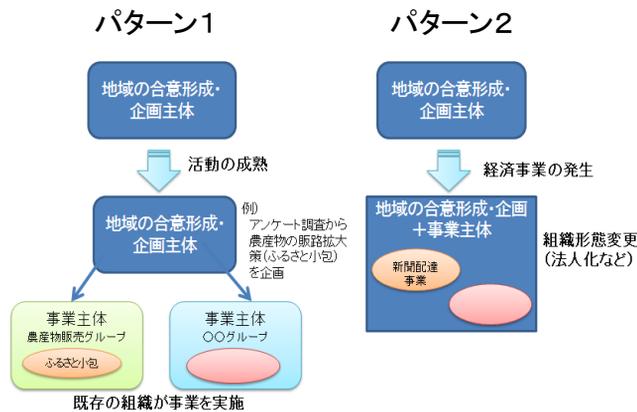
組織の中核としては、全体を統括するマネージャー的な人材、その補佐的人材、事務処理や会計などを行う事務局的人材が基本となります。その際に、多様な視点を持った外部人材の活用も非常に有効です。

<報告書>

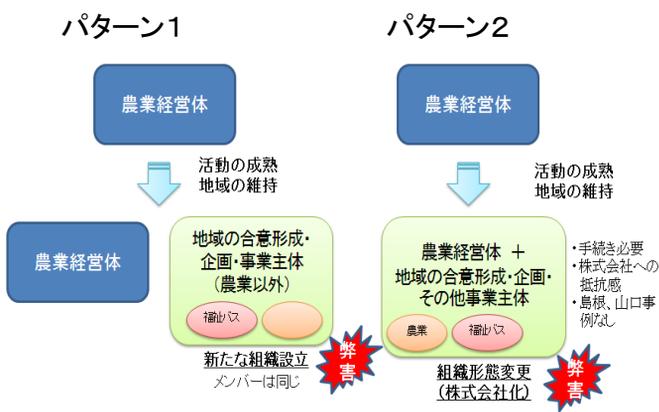
「中山間地域版 コミュニティ運営ガイドブックー自立に向けた20のノウハウー」 (中国地方中山間地域振興協議会; 2005年3月)

研究成果アルバム

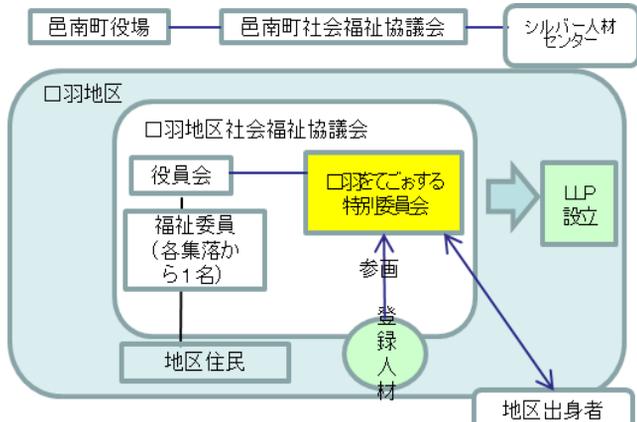
組織の発展形態(任意組織の場合)



組織の発展形態(農事組合法人の場合)



地域運営組織の事例 (口羽をてごおする会(島根県邑南町))



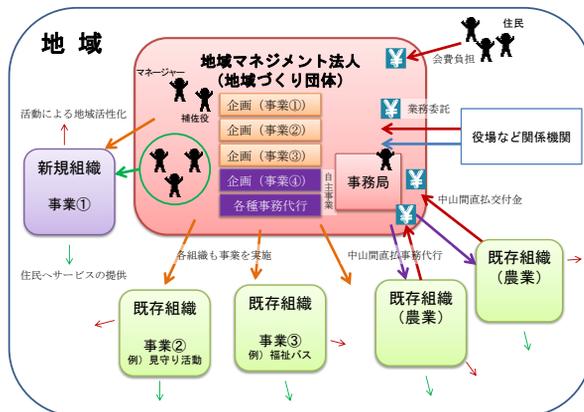
多様な事業展開により自主財源を確保



組織の中心となる人材の確保



地域マネジメント組織を中心とした地域運営のイメージ



◇連絡・問い合わせ先

島根県中山間地域研究センター 地域研究スタッフ
 担当 主席研究員 有田 昭一郎、専門研究員 安部 聖
 〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207番地
 TEL : 0854-76-3836 FAX : 0854-76-3758
 E-mail : abe-satoshi@pref.shimane.lg.jp HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>